

講義・演習概要（シラバス）

第1部課程第121期（平成25年10月24日～平成26年3月18日）

課 目 名	公共政策の基礎理論
時 限 数	8 時限
担 当 講 師	東京工業大学名誉教授 宮嶋 勝 ＜プロフィール＞ 昭和45年3月 東京工業大学理工学研究科博士課程修了（工学博士） 昭和45年4月 榊構造計画研究所 研究員 昭和52年4月 東海大学工学部経営工学科助教授 昭和54年10月 東京工業大学工学部助教授 昭和61年12月 東京工業大学工学部教授 平成17年4月 東京工業大学名誉教授 平成17年4月 帝京大学経済学部教授 平成24年3月 帝京大学退官
ね ら い	自治体職員の政策形成能力の向上にとって、地域の実情に応じた独創性豊かな取組が求められています。本講義では、自治体が直面する政策課題の解決を図る公共政策について、その基礎的な理論を理解することをねらいとします。
講 義 概 要	第1回の講義：「公共政策の3つの視点」について講義します。第一の視点は“行財政改革”、第二の視点は“公平性”、第三の視点は“住民との協働”です。 第2回の講義：「中堅職員の政策形成力の育成－3つの対応－」について講義します。第一は“必需性・画一性・量的充足から選択性・個別性・ソフト化への対応”、第二は“明構造から漠構造への対応”、第三は“法制度論から計画論への対応”です。そして、「計画論による政策形成」の概要を講義します。 第3回の講義：「政策形成能力の向上」の具体的な進め方を、その1～その4に分けて講義します。その1は、“政策課題の明確化－情報力の強化－”です。その2は、“事業目標値の設定－立案力の強化－”です。その3は、“シナリオ方式に強く－立案力の強化－”です。その4は、“事業の評価値（達成度）を持つ”です。 第4回の講義：公共財に於ける“受益と負担の原理”の講義と、公共部門の使命“公平な社会の構築に向けた政策形成”の講義と、“費用便益比の理論”を講義します。
受講上の注意	現在、又は、今まで担当した仕事・事業を念頭に置いて講義を聴講して下さい。
使 用 教 材	講義レジュメ：印刷物、及び、ファイルで配布します。 教科書：「公共政策の基礎」と「データを活用した政策形成（CD付き）」です。
効 果 測 定	ありません
そ の 他 (他の課目との関連)	教科書「データを活用した政策形成（CD付き）」に関連して、選択科目の演習 A/B があります。